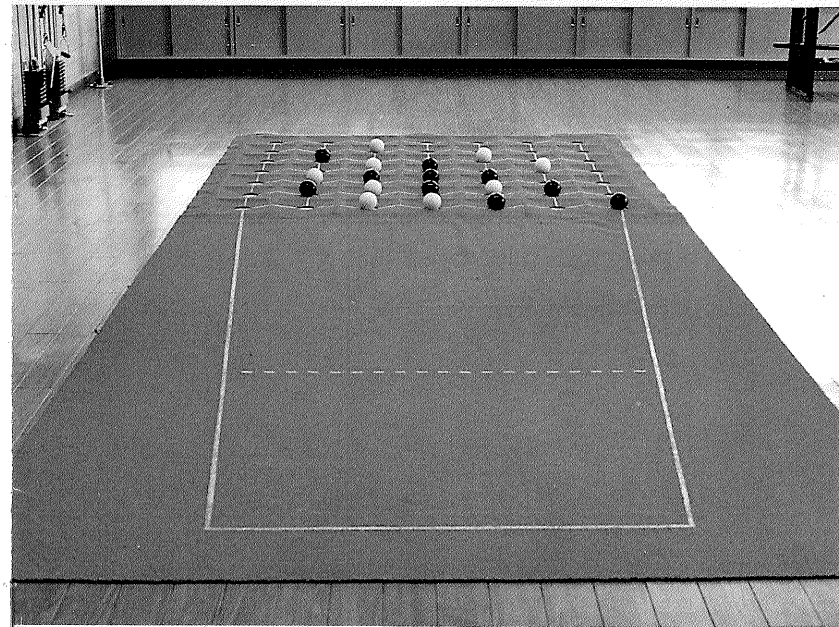


囲碁のまち柏原

囲碁ボール の手引き



発行者 囲碁ボール普及会
〒669-3315兵庫県丹波市柏原町大新屋724-1
代表 由良昭八

囲碁ボール研究グループ

囲碁ボール競技

囲碁ボールの誕生

囲碁ボールは兵庫県柏原町^{かいばら}で生まれた競技です。なぜ柏原町で生まれたのかと言えば、町にまつわる故事のひとつに「碁賭けの勝負」があります。

その昔、…谷垣石見守^{いわたのいもり}と言う殿様はとても囲碁が好きな殿様で、隣村の殿様とよく碁を打っていました。ところが村人達は石戸山の領地の境をめぐる争いが絶えず、そこで両方の殿様が碁の勝敗によって境を決めることになり、そ

の結果谷垣石見守が勝ちその後、領地争いはなくなりました。

この故事にちな

んで今でも、谷垣石見守が祀られている石見神社は「碁の神社」と言われています。

こうした神社がある柏原が「囲碁のまち柏原」をめざして、この囲碁ボールが生まれました。



石見神社

碁の殿様といわれる谷垣石見守が祀られている石見神社には、通常約20倍の大きさの日本一の石の大碁盤が奉納されています。

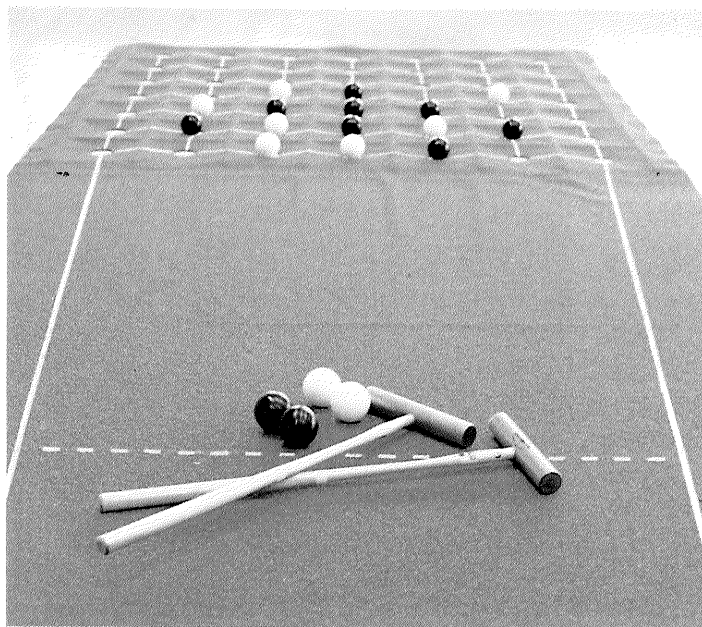
特 徴

囲碁ボールは、これまで多くの競技の良い点のみを取り入れた新しい競技です。

子どもから高齢者まで、年齢・性別・体力を問わず、だれでもでき、みんなで楽しくやれる競技です。また、練習を重ねると、高度なテクニックですばらしい試合が楽しめ奥の深い競技です。

用 具

- 囲碁ボールマット……縦5 m横2 mの人工芝マットに、49個の目(穴)があります。
- ボール……直径7 cmの硬質プラスチック製で、白・黒の各10個で競技します。
- スティック……木製とします。



場 所

基本としては室内競技ですが、屋外での使用も可能です。

自動車の車庫ぐらいのスペースがあればできます。

ゲーム方式

シングルス(1対1)・ダブルス(2対2)またはトリプルス(3対3)が基本的な対戦方法ですが、変則的な人数でも競技ができます。

ゲームの進め方

- ①選手は試合開始の前にヒットラインに集合し、トスで先攻を決めます。
- ②トスで勝ったチームが先攻で、黒ボールを使用します。
- ③ヒット(スティックでボールを打つこと)順は、黒・白のチーム交互とします。
- ④両チームすべてのボールを打ち終ることを「1局」といい、1局が終ればアウトボールを取り除き、得点を記録します。
- ⑤1試合は5局の総合計で決めます。

競技方法

競技は、ヒットしたボールを目(穴)に停止させることを競います。

<ヒットのボール数と順番>

- ①1局中に1人が打つボールは次のとおりです。

対戦方法	1チームのボール数	1人が打つボール数
シングルス(1人)	10個	10個
ダブルス(2人)	10個	5個
トリプルス(3人)	10個	2人が3個、1人が4個

ダブルス及びトリプルスの場合、チーム内での打つ順番は自由です。

- ②スティックがボールに触られるのは1回限りです。
- ③打ったボールが、すでに打って停止しているボールに触れても、反則となりません。

次の局

- ①1局が終了すれば、得点を計算し、次の局に入ります。
- ②次の局は、前の局の得点のいいチームが先攻となります。
- ③終了した局が同点の場合は、前の局の先攻チームが引き続き先攻となります。

局 チーム	得点別 目	1局	2局	3局	4局
		黒	ライン得点 5 4 3		
A	ポイント得点	7			
白	ライン得点 5 4 3		1		
B	ポイント得点	6			

(この場合2局目は白が先攻)

ゲームの終了

- ①1試合の時間は30分です。
- ②時間内に5局を競います。
- ③試合途中で30分が過ぎた場合は、その局は続けますが、次の新しい局には入れません。
ただし、故意にプレーを遅らせ、自分のチームを有利にすることはできません。

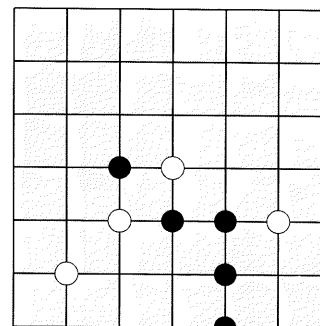
得点と勝敗の判定

得点には「ライン得点」と「ポイント得点」があります。

〔ライン得点〕

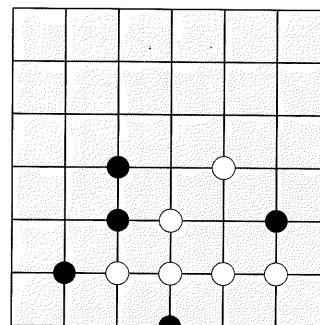
自分のチームのボールが縦・横・斜めのいずれかの目(穴)に3つ以上並ぶとライン得点となります。

並んだ数を『目』^{もく}といい、できた組数を『連』^{れん}といいます。



黒は3目2連
白は3目1連

例えば、3つ並んだのが2組あれば、『3目2連』といいます。



黒はライン得点なし
白は4目1連と3目1連

ただし、6目以上は無効でライン得点になりません。

判定

- ①全局の中で、数の多い「目」を取っているチームが勝です。
- ②「目」が同じ場合は「連」の数の多いチームが勝です。
- ③「目」も「連」も同じ場合は、その下の「目」を同じように判定します。

④すべてのライン得点と同じ場合は、ポイント得点で判定します。

[ポイント得点]

目(穴)に停止しているボール数をポイント得点として記録します。

チームボール10個すべてが、どこかの目(穴)に入った場合は、ポイント得点10のほか特別にライン得点の「5目1連」が与えられます。

判定

- ①ライン得点と同じ場合は、ポイント得点の合計が多いチームが勝となります。
- ②ポイント得点合計が同じ場合は、いずれかの局で高い得点のあるチームが勝となります。
- ③さらに同じ得点の場合はトスで決めます。

勝敗判定例

(1) Bチームが「5目1連」で勝となる。

チーム	局	得点別	目	1局	2局	3局	4局	5局	合計	勝敗	
A	黒	ライン得点	5							24	勝
			4			1			1		
			3	1					1		
B	白	ライン得点	5					1	1	23	
			4								
			3								
		ポイント得点		4	3	5	7	5			
		ポイント得点		5	4	3	5	6			

(2) どちらも5目があるので4目のあるAチームが勝となる。

チーム	局	得点別	目	1局	2局	3局	4局	5局	合計	勝敗	
A	黒	ライン得点	5					1	1	25	勝
			4			1			1		
			3								
B	白	ライン得点	5			1			1	32	
			4								
			3		2		1	1	4		
		ポイント得点		2	5	6	5	7			
		ポイント得点		5	7	7	6	7			

(3) 4目があるAチームが勝となる。

チーム	局	得点別	目	1局	2局	3局	4局	5局	合計	勝敗	
A	黒	ライン得点	5							18	勝
			4					1	1		
			3								
B	白	ライン得点	5							27	
			4								
			3	1		2	1	1	5		
		ポイント得点		3	4	2	2	7			
		ポイント得点		5	4	7	5	6			

勝敗判定例

チーム	局 得点別	目	1局	2局	3局	4局	5局	合計	勝敗
			1局	2局	3局	4局	5局		
黒 A	ライン得点	5							勝
		4							
		3	3			1		4	
	ポイント得点	7	5	3	5	4	24		
白 B	ライン得点	5							勝
		4							
		3	1	2		1	1	5	
	ポイント得点	5	7	3	5	5	25		

(4) Bチームが3目が5連で多いためBチームが勝となる。

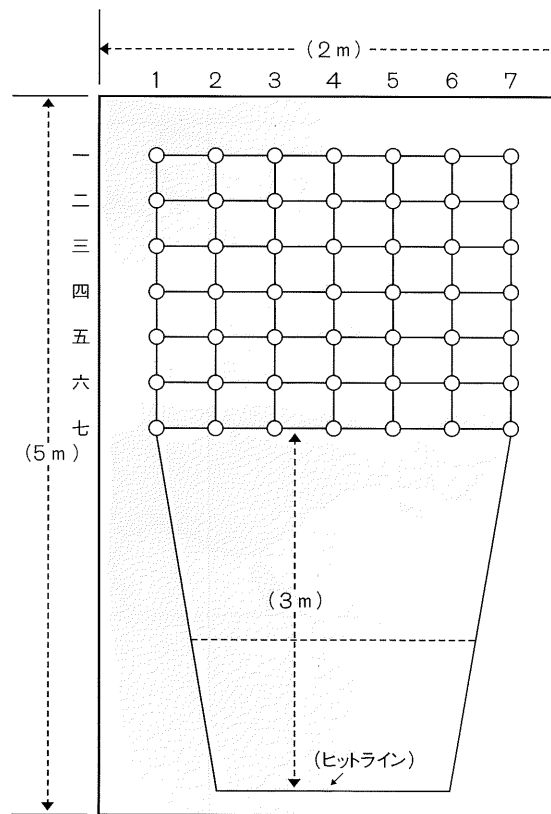
チーム	局 得点別	目	1局	2局	3局	4局	5局	合計	勝敗
			1局	2局	3局	4局	5局		
黒 A	ライン得点	5							勝
		4							
		3	1		1		1	3	
	ポイント得点	5	3	5	3	6	22		
白 B	ライン得点	5							勝
		4							
		3		2			1	3	
	ポイント得点	2	6	2	6	5	21		

(5) どちらもライン得点が高いため、ポイント得点の多いAチームが勝となる。

チーム	局 得点別	目	1局	2局	3局	4局	5局	合計	勝敗
			1局	2局	3局	4局	5局		
黒 A	ライン得点	5							勝
		4							
		3							
	ポイント得点	3	3	6	2	4	18		
白 B	ライン得点	5							勝
		4							
		3							
	ポイント得点	5	4	3	2	4	18		

(6) ポイント得点合計が高いため、1局で6ポイントあるAチームが勝となる。

囲碁ボールマット見取り図



囲碁ボール・スコアカード

チーム	局 得点別	目	1局	2局	3局	4局	5局	合計	勝敗
			1局	2局	3局	4局	5局		
黒	ライン得点	5							
		4							
		3							
	ポイント得点								
白	ライン得点	5							
		4							
		3							
	ポイント得点								